

—住生活基本計画等と市区町村の住まいづくり

自治体住宅政策—人口減少・超高齢社会と住環境マネジメント

～持ち家制度・賃貸市場の変化と高齢者・若者等の住宅確保施策

—地域居住の推進、増える空き家の利活用～

□住環境マネジメント—所有・管理、コントロール、更新・再生、サービス提供の新プラットフォームの形成へ

■高齢者・生活困窮者の地域居住—生活支援と空き家利活用・地域包括ケアのシステム

□少子高齢化時代の自治体住宅施策—若者、女性、子育て世帯、高齢者の住まいづくり

【講師陣】

齊藤 広子 氏／横浜市立大学国際総合科学部教授

滝脇 憲 氏／特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会常務理事
都市型軽費老人ホーム「ルミエールふるさと」施設長

平山 洋介 氏／神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授

日時・会場

7月29日(金)

10:30～16:20

会場：剛堂会館会議室
(東京・千代田区)

時	講 義 内 容
10:30 ～ 12:00	<p>住環境マネジメントシステムと自治体の住宅・土地政策 ～公法・私法・市場が連携した新しいまちづくり手法をめぐって～(仮題)</p> <p style="text-align: right;">横浜市立大学教授 齊藤 広子 氏</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><齊藤 広子氏プロフィール> 筑波大学第三学群社会工学類都市計画専攻卒業。不動産会社勤務を経て、1992年大阪市立大学大学院生活科学研究科修了。現在は、横浜市立大学国際総合科学部教授。その他、国土交通省社会資本審議会住宅地分科会や横浜市空家等対策協議会、東京都住宅政策審議会の委員を務める。主な著書に、「住環境マネジメント」(2011、学芸出版社)、「都市の休閒地空き家を考える」(共著、2014、プログレス)等。</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
13:00 ～ 14:30	<p>高齢者・生活困窮者の住宅確保と空き家利活用への取組み ～生活支援・地域包括ケアシステムとの連携～</p> <p style="text-align: right;">ふるさとの会常務理事 滝脇 憲 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者・生活困窮者の住宅確保 <ol style="list-style-type: none"> (1) 住宅確保要配慮者 (2) 支援付き住宅のニーズ (3) サロン(総合相談窓口) 2. 空き家活用の取組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 空き家の状況 (2) 社会的不動産事業・大家による空き家の活用—地域再生の可能性 (3) 支援付きアパート 3. 生活支援と地域包括ケア <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域包括ケアシステムの機能—「植木鉢」と「土」 (2) 機能障害を生活障害にしない生活支援 (3) 生活支援の人材育成事業 4. 認知症になっても、馴染みの地域で、最期まで ～寄りそい地域ネットワーク～ <ol style="list-style-type: none"> (1) 2025年問題と地域居住 (2) 生活互助、地域互助の地域ネットづくり (3) 支援付き住宅の制度化 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><滝脇 憲氏プロフィール> 2002年東京外語大大学院修了。精神保健福祉士。02年NPO法人自立支援センターふるさとの会に入職。08年に理事に就任し、現在、東京都新宿区にある「都市型軽費老人ホームルミエールふるさと」施設長、東京外語大非常勤講師なども務める他、講演などを通し、活動への理解を求める。高齢者住宅財団「低所得の高齢者等への住まい・生活支援を行う事業の全国展開に関する調査研究事業」作業部会委員、厚労省「生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会」委員などを務める。</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
14:50 ～ 16:20	<p>少子・高齢社会の住宅政策</p> <p style="text-align: right;">神戸大学大学院教授 平山 洋介 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち家・賃貸市場の変化 2. 若者の住宅事情 3. 女性就労と持ち家取得 4. 子育ての住宅条件 5. 高齢社会の住宅資産所有 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><平山 洋介氏プロフィール> 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程を修了後、神戸大学発達科学部助教授、教授を経て2003年より現職。東京市政調査会藤田賞、日本都市計画学会計画設計賞等を受賞。主な著書に、「住宅政策のどこが問題か(持家社会)の次を展望する」(光文社、2009年)、「ストック活用型団地再編への展望」(関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト編、「公共住宅政策について」)の執筆を担当、関西大学出版部、2016年)</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>

5月から空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行される。空き家にどう向かうべきかのボールは自治体側にある。だが、「空き家」とはどういう状態か。誰にとってどんな問題か。自治体としてどうしたいのか。事情は自治体によりまた地域によってもさまざまであり、そもそも論から考えなければならぬ。そんな今、これまでの各地の問題発見と取り組みとを一覧できる両書を、空き家問題を俯瞰する出発点として推薦する。

◎本書を推薦します(2015.4)
 辻山 幸宣 / (財)地方自治総合研究所所長
 出石 稔 / 関東学院大学副学長
 田口 一博 / 新潟県立大学国際地域学部
 国際地域学科准教授

(空き家・巻2)

空き家の実態から方策を探る―

空き家問題のフロントランナー

□ [執筆] 米山 秀隆 / (株)富士通総研経済研究所 上席主任研究員

空き家(マンション)対策の自治体政策体系化

■ 体裁 : A4 / 178頁
 ■ 発行 : 2015年2月20日
 ■ 定価 : 5,022円(税・送料込)
 (本体4,650円)
 ■ 研修会参加者特価 : 4,600円

第1章 空き家(マンション)の現状と課題
 ～「2013年住宅・土地統計調査」をどう読むか～
 はじめに / 空き家の現状と将来展望 / 空き家の実態 / マンションの空き家の現状 / 空き家をもたらす問題
 第2章 空き家対策①
 ー撤去促進策と空家等対策特措法
 空き家対策の類型と取り組み状況 / 空き家の撤去促進策 / 空家等対策特別措置法 / 固定資産税に関するもう一つの視点

第3章 空き家対策②
 ー利活用促進策と老朽マンション対策
 空き家バンク / 空き家の流動化のネックとその解消法 / 空き家利活用のインセンティブ / 空き家を活用した定住支援への取り組み / 空き家の公的活用 / 空き家関連ビジネス / 空き家の多様な活用法と住宅弱者対策 / 老朽化マンション対策

第4章 「空き家」問題から今後の住宅・都市政策を展望する
 これからの住宅・都市政策 / コンパクトシティ政策の事例 / 公共施設集約の進め方 / 所有者不明の空き家の処分
 第5章 [資料] 空き家対策の自治体政策構築に向けて
 老朽空き家の撤去促進ツール / 空き家利活用まちづくりと老朽化マンション対策 / コンパクトシティ政策と公益施設の集約化

(空き家・巻3)

老朽危険家屋の解体・撤去―

行政代執行の手法と政策法務

■ 体裁 : A4 / 166頁
 ■ 発行 : 2015年2月20日
 ■ 定価 : 5,292円(税・送料込)
 (本体4,900円)
 ■ 研修会参加者特価 : 4,800円

[監修(執筆)] 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院長 [執筆] 長谷川 高宏 / 大阪市都市計画局建築指導部監察課長 (大阪府)
 [コメント] 宇賀 克也 / 東京大学大学院教授 中山 順博 / 大田区まちづくり推進部建築調整課長 (東京都)
 ・執筆] 仲村 譲 / 大仙市総務部総合防災課主査 (秋田県)

第1章 空き家対策条例の制定・運用動向と課題
 北村 喜宣
 空き家適正管理条例の到達点と課題 / 権限発動におけるいくつかの実務的論点 / 建築基準法10条3項の命令と独立条例における「命令」 / 空家対策特別措置法案の背景と概要 / 空家対策特別措置法成立後の条例対応のポイントと法案への疑問

第2章 老朽危険家屋の行政代執行の実務
 第1節 大阪市 老朽危険家屋の行政代執行～「建築基準法」に基づく解体・撤去の手法と今後～ 長谷川 高宏
 第2節 大田区 老朽危険空き家に対する行政代執行の実施と今後の課題～「空き家の適正管理に関する条例」に基づく行政代執行とそこから見えてきたもの～ 中山 順博

第3節 大仙市 空き家の行政代執行(3件・13棟)の目的・成果と課題・対応策～「空き家等の適正管理に関する条例」の仕組みと「空き家解体ローン」について～ 仲村 譲
 第3章 (パネル討論)
 実効性ある自治体「空き家」対策
 司会: 北村喜宣 コメント: 宇賀克也
 パネリスト: 長谷川高宏、中山順博、仲村譲

老朽危険家屋等の管理手法 一 条例(議員提案)の制定と政策法務 空き家等の適正管理条例

空き家・巻1

■ 体裁 : A4判 / 162頁
 ■ 発行 : 2012年8月21日
 ■ 定価 : 5,141円(税・送料込)
 (本体4,760円)
 ■ 研修会参加者特価 : 4,700円

[本書を推薦します]
 廣瀬 和彦 全国市議会議員会法制部
 出石 稔 関東学院大学教務部長・法学部教授
 宇賀 克也 東京大学大学院法政学研究所教授

(編著) 北村 喜宣 / 上智大学法科大学院教授
 前田 広子 / 所沢市危機管理課防犯対策室長 (埼玉県)
 吉原 治幸 / 足立区建築室建築安全課長 (東京都)
 塚本 竜太郎 / 柏市議会議員 (千葉県)
 進藤 久 / 大仙市総合防災課長 (秋田県)

ごみ屋敷対策の実効性 一 独居・高齢・孤立化社会への自治体対応策

環境対策条例の立法と運用

ごみ屋敷対策

■ 体裁 : A4判 / 234頁
 ■ 発行 : 2013年8月2日
 ■ 定価 : 7,193円(税・送料込)
 (本体6,660円)
 ■ 研修会参加者特価 : 6,500円

対策実施事例と条例の制定・運用・特徴

[編集(執筆)] 宇賀 克也 / 東京大学大学院法政学研究所教授
 [執筆] 辻山 幸宣 / 公益財団法人 地方自治総合研究所所長
 島田 裕司 / 足立区生活環境調整担当課長 (東京都)
 山本 吉毅 / 荒川区環境課長 (東京都)
 清永 雅彦 / 杉並区環境課生活環境担当係長 (東京都)

【研修会の参加要領】

- 日時 : 2016年7月29日(金) 10:30～16:20
- 会場 : 剛堂会館会議室(案内図は申込後送付)
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
- 申込方法 : 下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
 (FAX・郵送・メール等)。

■参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,000円
一般	35,000円	34,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方の出席をお願い致します。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)
 ・現金書留・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660
 口座名: 地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2016年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX : 03(3234)4993 MAIL : machi@chiikikagaku-k.co.jp

■ 研修会の参加 『自治体住宅政策』 : □当日参加 ※メディア参加はございません

■ 出版物の購入 □空き家・巻2 『空き家対策の自治体政策体系化』 _____ 冊 □空き家・巻1 『空き家等の適正管理条例』 _____ 冊
 □空き家・巻3 『行政代執行の手法と政策法務』 _____ 冊 □『環境対策条例の立法と運用』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

(通信欄) ○をつけてください
 ・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
 ・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)
 請求書宛名: _____

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。